

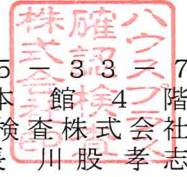


試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成29年1月24日

受付日：平成28年11月21日
受付番号：HP16-KT195

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	「オメガ羽子板プレス10あんしん」
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部及び横架材端部接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物 「オメガ羽子板プレス10あんしん」材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15以下 Mn;0.60以下 P;0.045以下 S;0.05以下 寸法：M12 L=280mm 背板部 t=3.2mm ボルト用孔 M12ねじ加工 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>2) 接合具 柱側：「六角ボルトM12」材 質：機械的性質の強度区分4.6を満足する炭素鋼(JIS B 1180*1) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625) 「六角ナットM12」材 質：機械的性質の強度区分4を満足する炭素鋼(JIS B 1181*2) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625) 「角座金W4.5×40」材 質：SPHC(JIS G 3131) 寸法：40mm×40mm t=4.5mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>横架材側：「六角ナットM12」材 質：機械的性質の強度区分4に適合する炭素鋼(JIS B 1181*2) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625) 「角座金W4.5×40」材 質：SPHC(JIS G 3131) 寸法：40mm×40mm t=4.5mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>3) 軸組材料 柱：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：10.5～12.5% 全乾密度：0.43～0.46g/cm³ 横架材：105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率：9.5～13.0% 全乾密度：0.42～0.49g/cm³</p> <p>*1 JIS B 1180 六角ボルト *2 JIS B 1181 六角ナット</p>
6. 試験条件等	接合金物の固定：角座金W4.5×40及び六角ボルトM12・ナットM12を用いて緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) 試験体の固定：柱芯より横架材両木口側に400mmの位置で角座金W4.5×40及びM12ボルト・M12ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m)
7. 試験結果	短期基準接合耐力 10.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成28年12月2日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 宇山 善博 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。